

ガスクロマトグラフ質量分析計

【(株)島津製作所製 GCMS-QP2020NX】 令和2年12月導入



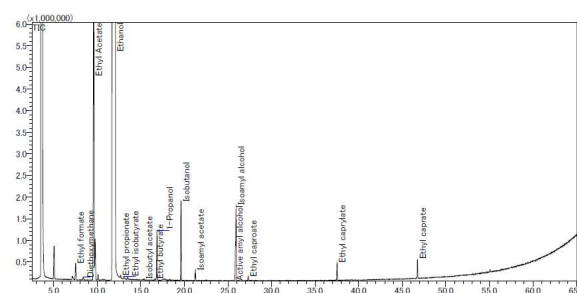
- ・揮発性成分の定性および定量分析が可能です。
- ・食品に含まれる香気成分の香りを嗅ぎながら定性分析が可能です。
- ・香気成分の香りの特徴、化学構造、閾値等の情報検索ができます。

仕様	
イオン化モード	EIイオン化
質量測定範囲	1.5～1090
EI感度	オクタフルナフタレン10fg以下
GC最大カラム流量	15mL/min
GCオープン設定範囲	室温+2～450℃
GC注入口	スプリット・スプリットレス注入口
キャリアガス	ヘリウム
オートインジェクタ	AOC-20S
におい嗅ぎシステム	OP275 Pro II (GLサイエンス製)
香気成分データベース	AroChemBassスタンドアローン (アルファモス製)

使用方法	
	項目
委託分析試験	ガス、液体クロマトグラフ分析
設備使用	-

* 料金は別途料金表をご確認ください。

【ウイスキーの香気成分分析】



保持時間 (分)

ウイスキー香気成分のトータルイオンクロマトグラム

【GC-MS分析条件 (SCAN)】

HS	TurboMatrix HS		
GC-MS	GCMS-QP2010 Ultra		
カラム	DB-WAX (長 660 m, 0.25 mm I.D., df=0.5 μm)		
[HS]		[GC]	[MS]
注入時間	:0.05 分	カラムオープン	:40 °C (5 分) → (3 °C/分) → 240 °C (5 分)
オープン温度	:40 °C	気化室温度	:200 °C
ニードル温度	:100 °C	注入モード	:スプリット
トランスファ温度	:150 °C	キャリアガス	:He
サンプルシャーカ	:ON	制御モード	:圧力 (150 kPa)
加熱時間	:1 分		
引き上げ時間	:0 分		
保圧時間	:30 分		
HSキャリアガス圧力	:200 kPa		